



# 鉄のふしぎ? 博物館

■28

彼にもらったパラサイト  
(幅30ミ、長さ35ミ、厚み  
1ミ、7ミ)



「衣川さん、パラサイ  
トを見たことがあります  
か?」彼「本の中の写真  
では見たことはありません

## 「パラサイト(石鉄隕石)」

画像はカラーと  
交換しています。

### 衣川製鎖工業・衣川良介社長

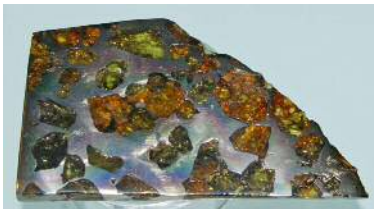
が、現物はまだです」私。  
そう答えると彼は柵の引  
き出しから小さな木箱を  
取り出しました。中から  
大きめの記念切手と同じ  
くらいの長方形の何とも  
不思議な、そして綺麗な  
薄い板が現れました。光  
にかざすと、銀白色の枠  
にはまった幾何学模様  
の絵で、ステンドグラス  
のように見えます。「これ  
がパラサイトです」彼。  
私は親指と人さし指  
で、そうとつまんで顔  
に近づけたり、反転させ  
て光にかざしたりしてみ  
ました。磁石を近づける  
と強く反応します。「綺麗  
ですね。宇宙の不思議を  
感じますね」手に持った  
まま、彼とそんな話をし



ていました。「そんなに気  
に入られたのなら、日頃  
お世話になっておるお礼  
に、貴方に差し上げま  
す。「え! え! こんな高  
価なものを貰っていいの  
ですか?」どうぞ、これ  
で宇宙旅行でもしている  
気分になってください」  
「ありがとう」と感謝して  
これを頂きました。パラ  
サイトとの初対面はこん  
なふうでした。

鉄とガラスが一つの塊  
として、どろどろに溶け  
て宇宙へ飛び出したので  
す。その塊は長い時間を  
かけて徐々に固まってゆ  
きます。1度温度が下が  
るのに50万年〜100万  
年と言われています。冷  
えていくにしたがって、  
鉄とニッケルの合金部分  
とガラス質(カンラン石)  
が適当な大きさに凝固し  
ていくのでしょう。20  
13年9月28日、姫路科  
学館で隕石、隕鉄とパラ  
サイトを見せて頂きました  
た。私が気に入ったパラ  
サイトは、長さ10cm、幅  
5ミ、厚み6ミ位か、銀白  
色の枠の中に緑色や黄色

小さなパラサイト(幅25  
ミ、長さ27ミ、厚み2ミ、  
7ミ)反対側からライト  
を照射しています



姫路科学館のパラサイト(幅50ミ、  
長さ100ミ、厚み6ミ、約200g)

がかった玉石が埋め込ま  
れているようです。石鉄  
隕石のパラサイトは鉄と  
ニッケルの合金の中に粒  
のカンラン石が入り込ん  
でいます。カンラン石は  
マグネシウムや鉄がケイ  
素と化合した鉱物です。  
台所にある料理用のハカ  
リを持ち出し重さを計っ  
てみました。7ミもう一  
つ手持ちのものも計りま  
した。私もこんな石鉄隕  
石を『鉄のふしぎ博物館』  
に展示したいと思ってい  
ます。  
今年1年間のご愛読あ  
りがとうございました。  
来年もこのコラムに挑戦  
したいと思っています。